

平成19年11月9日

各位



東京都千代田区有楽町一丁目12番1号

石川島建材工業株式会社

代表取締役社長 岡田 秀夫

(コード番号 5276 東証第2部)

(決算期 3月31日)

問合せ先 財務部部长 土佐 健次

(TEL. 03-5221-7211)

当社の親会社 **株式会社 I H I**

代表取締役社長 釜 和 明

(コード番号 7013 東証第1部)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成19年5月14日の決算発表時に公表した平成20年3月期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)の通期の業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 当通期の業績予想の修正(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(1) 連結業績の予想

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	17,500	120	110	100
今回修正予想(B)	13,100	△780	△790	△980
増減額(B-A)	△4,400	△900	△900	△1,080
増減率(%)	△25.1%	—	—	—
前期実績 (平成19年3月期)	27,767	△3,327	△3,431	△4,540

(2) 個別業績予想

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	17,400	160	160	150
今回修正予想(B)	13,000	△630	△630	△830
増減額(B-A)	△4,400	△790	△790	△980
増減率(%)	△25.3%	—	—	—
前期実績 (平成19年3月期)	14,150	103	135	△4,056

2. 修正理由

【連結】

売上高につきましては、セグメント事業において、下水道などの中小口径の売上確保に努めたものの、大型土木プロジェクトの発注時期の大幅なずれ込み等により、下方修正をせざるを得なくなりました。

一方、自走式駐車場事業においても、大型案件を中心とした大幅な当期受注増の結果、当期末の受注残高は90億円を上回る見込みですが、今年6月の建築基準法改正による建築確認審査が厳格化されたことによる建築確認申請の許可遅れが多発し、売上時期が大幅に期ずれする見通しとなりました。その結果、通期売上高175億円を131億円に修正いたします。

営業利益、経常利益につきましては、前述した両事業の減収による売上総利益の減益並びに採算性の低下により、通期営業利益120百万円を△780百万円に、通期経常利益110百万円を△790百万円に修正いたします。

当期純利益につきましては、経常利益の減益に加えて、当社の繰延税金資産の回収可能性の低下による法人税等調整額（損）167百万円が増加することにより、当期純利益100百万円を△980百万円に修正いたします。

【個別】

売上高、営業利益、経常利益、当期純利益の主な修正理由は、前述した連結同様であります。

(注) 本資料に記載しております業績予想等につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により本資料の見通しとは異なる結果となる可能性があります。

以 上